

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	第10回 上田市行財政改革推進委員会 (第3期)
2	日 時	平成24年1月24日 (火) 午後1時15分から午後2時まで
3	会 場	上田市役所本庁舎 3階 第一応接室
4	出席者	増澤会長、宮本副会長、小林委員、斉藤委員、佐藤委員、半田委員 堀内美祐子委員、堀内理恵委員、宮沢委員、宮下委員
5	市出席者	市長、副市長、総務部長、関行政改革推進室長、西澤係長、市川主査、宮沢主査
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 6人
8	会議概要作成年月日	平成24年1月30日

協 議 事 項 等

1 開会

2 増澤会長から市長へ答申

3 事務局から答申の内容について説明

4 市長あいさつ (要旨)

上田市行財政改革推進委員会の皆さまには、今日も大勢ご参加いただき、答申を賜り先ず御礼申し上げます。

昨年5月に貴委員会へ諮問し、12回にわたり慎重、審議を賜ったと報告を受けている。

ただ今の答申案、大変重く受け止めさせていただいたが、第一次の行財政改革についてはこれまでも推進に努め、一定の成果を得られたと認識している。

しかし、残された課題もあり、また、新しい視点が必要ということもあり、更には、少子・高齢化の進行、財源の確保の問題など不確定要素が多い情勢の中で、今後の4年間の大綱もまた重いものだと認識をしている。

基本方針にも謳われている「参加と協働」については、市民の参加と協働の推進の必要性を強く感じており、併せて、新たな制度設計をする地域内分権を推進する改革についても鋭意進めていきたいと考えている。

第二次大綱案には、「新しい公共」、また、「広域連携」という新たな視点も加えていただいたが、地域全体が同じ方向に向かって欲しいとの思いから一市町村単位ではなく、広域圏で担えるものは広域圏でサービスを行おうと「定住自立圏構想」を策定したが、答申の中でもそのことについて触れていただき、敬意を表したい。

市民が求めることとしては、効率的、効果的な行政体ということがあり、それに応えるために我々も選択と集中を含めた諸改革を進め、事業を行っていく必要があると思っている。

したがって、この答申を最大限尊重申し上げ、早い段階にアクションプログラムを策定したい。ご指摘のとおり、改革の実行についてできない理由ではなく、どうすればできるのかという視点を全庁挙げて徹底させていきたいと考えている。

委員の皆さまには、大綱の実施について引き続き検証いただくとともに、ご指導賜りたい。

5 市長と委員との意見交換

(委員) 第二次大綱案の作成に携わった14名の委員全員が、上田を元気にしなければならない、昔のように活気のある上田市にしなければならないという思いの中、真剣に議論させていただいた。

改革のひとつの目的として最少の経費で最大の効果を上げることがあり、それを念頭に検討を進めたが、職員数の削減が進んでいる一方、新たに必要な業務というものも増えてきており、やはり、市民に担ってもらわなければならない部分は市民も理解した上で担っていかなければならないと思っている。

改革ばかり行政に求めても上手くいかないと思うし、市民の意識も変わっていかねばならないが、それが改革の一番難しいところとも感じている。

この改革の進行を評価するのは市民であり、市民の評価に対して真剣に受け止めなければならない。それにはやはり、アクションプログラムを定期的に検証することが大切だと思う。

(委員) 民間の発想に立ち大綱案の作成に努めてきたが、教育や福祉分野については単純に民間の発想を取り入れればいいというものでもなく、その兼ね合いが非常に難しいと感じた。

(委員) 各地域協議会委員の任期も、3期6年が終わろうとしている中で、協議会の役割についてももう一度見直す時期に来ていると感じている。

地域協議会が担うべきことは今後大きくなっていくと思われる中で、一体感を意識しながら活動していかなければならないと感じている。

(委員) 職員の意識改革ばかりでなく、市民の意識改革について大綱案で触れられたことは大きく評価している。

(委員) 市民の意識改革もちろん大切だが、行政は相変わらず改革が進んでいないという意見もあることをしっかり認識しておいていただきたい。

公共施設への民間活力の導入も進んできているが、改革の名の下に市民サービスが低下してはならない。

(委員) 上田市は、気候から始まってとても住みやすい地域だと思う。しかし、この恵まれている環境を当たり前だと思ってはいけない。この、恵まれているという意識を変えていく必要があると感じている。

(市長) 住民意識というものは、それぞれの立場で様々な意見があるものである。もちろん、様々な立場、意見はあるが、それぞれが人任せではなく、自己判断を伴うものであるという認識を一人ひとり持つことが、次へのステップには必要であると感じている。

また、外部からのご意見、ご指摘は非常に重要であり、今後も皆さまのお立場から率直なご指導をお願いしたい。

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。